

「子ども中心の学校・信頼される学校」をつくる

多々良中学校には73年という長い歴史があります。私たち教職員には、家庭・地域からの信頼を得ながら子どもたちの成長を促す教育活動を実践していくという大きな責任があります。その責任を果たすということは、73年間で築いてきたものをそのまま次世代に引き継ぐことではなく、時代の変化に伴った適切な教育活動を実践し、新たな伝統を作り、継承していくことが重要であると考えます。変わらない大切さと変わりゆく大切さを信じて、しっかりと責任を果たしていきたいと思えます。

そのために、校長としての具体的な取組を明確にして、全教職員の共通理解のもと、組織的な学校経営を推進します。

取組一 生きる力を育む教育活動の推進

生きる力を育むために、確かな学力の定着と豊かな心、健康な体の育成についての取組をバランスよく行う教育活動を推進します。

取組二 生徒指導・教育相談の充実

学校は、子どもたちに対して安全・安心を保障しなければなりません。その基盤となるものは、生徒指導体制の確立だと考えます。生徒指導の3機能を活かして、生徒指導主事や教育相談主任のリーダーシップのもと全職員が共通理解し、同一歩調で生徒指導・教育相談を推進します。

取組三 学校、家庭、地域との連携

学校の教育目標を達成するためには、学校の努力はもとより家庭、地域の協力が不可欠であることを再認識し、全教職員の共通理解のもと信頼ある学校づくりを推進します。